

令和3年7月5日

関係各位

(公財)日本ソフトテニス連盟
専務理事 野 際 照 章

会員登録の状況について（連絡）

令和3年（2021年）6月30日現在の会員登録数の状況及び令和元年（2019年）と令和2年（2020年）の会員登録数との比較について、別紙資料のように取りまとめましたので連絡いたします。

6月30日現在の登録数合計は令和2年（2020年）134,335名でありましたが、令和3年（2021年）は306,958名と約2.3倍増となりました。しかし、コロナ禍以前の令和元年（2019年）の登録数351,214名に比べると44,256名の減となっています。

令和元年（2019年）度末の区分別（指導者、一般、小学生、中学生、高校生、高専、大学生）登録数と、6月30日現在の区分別登録数を比較しますと、いずれの部門も令和元年（2019年）に比べて令和3年（2021年）はマイナスとなっていますが、指導者は3.2ポイントとほぼ令和元年度並みの登録状況となっており、また一般、高校生、大学生はその差が10ポイント弱であり、小学生、中学生、高専は各々13.9、12.0、13.9ポイントの減となっています。

昨年度に比較すると今年度の登録数は全体的に大きく伸びてはいますが、昨年7月の部活動の本格的再開に伴うような登録者数の伸びは、今年状況では期待することはできません。

減り続ける、ソフトテニス人口に歯止めをかけて、多くの方々に登録頂き、ソフトテニスライフをより楽しんでいただけますように、今後とも関係各位の皆様のご協力よろしくお願いいたします。